

LIXIL アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー **居室用出窓(LL220型)・キッチン用出窓(KB220型)・浴室用出窓(BB220型) 取付け説明書**

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。
※居室用外部ボックス使用の場合は、居室用外部ボックス取付け説明書を参照してください。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

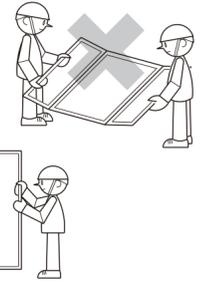
注意 取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

注意

- 出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - W1900mmを超える製品には、補強ブラケットがくる位置の間柱に対して窓台固定ねじを必ず使用してください。
 - 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
 - 下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
 - 屋根は必ず奥まで差込んでください。
 - 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大35kg(屋根を含めると50kg)になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - 躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - 外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - 屋根用シール材は絶対にはがさないでください。
 - 屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - 外壁は52mm以下に仕上げてください。
 - 出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
 - 浴室用出窓のサッシ本体と額縁・テーブル板まわりのシーリング時には、接着性を高めるため、必ずプライマーを使用してください。
 - 縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

取付け上へのお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬめると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いないよう使用してください。

記号	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
名称	皿木ねじ φ3.5×32	ナベタッピンねじ φ4×30	丸木ねじ φ4.1×63	スクルー釘 φ2.4×38	万能ビス(ラッパ) φ4.8×90	ナベタッピンねじ φ4×30(座金付き)	皿木ねじ φ3.1×20
姿図							
使用箇所	縦枠(室外側)-躯体	水切り-躯体 補強ブラケット-躯体	補強ブラケット-躯体	屋根-躯体	窓台-間柱	正面上枠-屋根	天板見切り縁-屋根
袋表示	取付け用1					取付け用2	

記号	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ
名称	トラス小ねじ(先付) M4×10	皿木ねじ φ3.1×20	皿テクスねじ φ4×30(D7)	皿小ねじ M4×10	防水補助シール	縦枠下部 防水シール
姿図						
使用箇所	屋根-縦枠 (角型のみ)	浴室用BB220型 以外	浴室用BB220型 のみ	浴室用BB220型 のみ	屋根-縦枠フィン	縦枠下部フィン- 下枠補強材フィン
袋表示	取付け用2		取付け用3			-

取付け順序

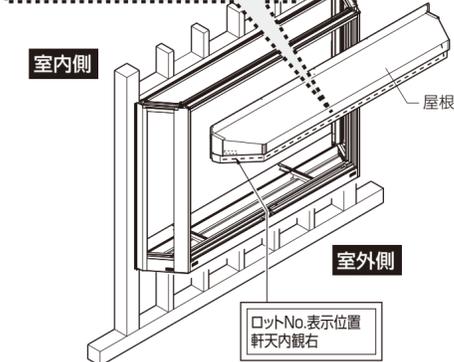
1開口部の確認・窓台固定ねじの取付け (W1900mmを超える場合のみ)

2本体の取付け

3屋根の取付け

注意

●屋根用シール材は絶対にはがさないでください。

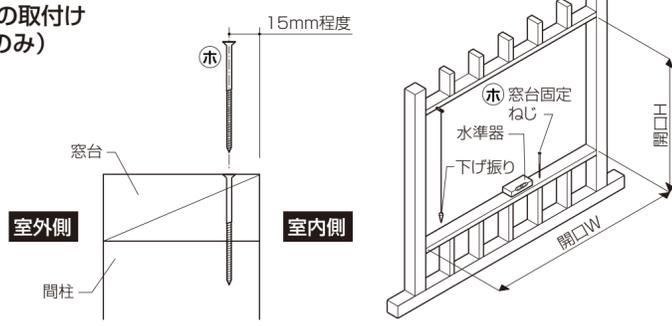


取付け詳細

※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いないよう使用してください。

1開口部の確認・窓台固定ねじの取付け (W1900mmを超える場合のみ)

- ①水平・垂直を確認し、開口部を作成します。
- ②W1900mmを超える場合は、補強ブラケットがくる位置の間柱に対して、窓台固定ねじを取付けます。その際、ねじ頭が窓台よりも飛び出さないように固定してください。テーブル板が入らなくなるおそれがあります。

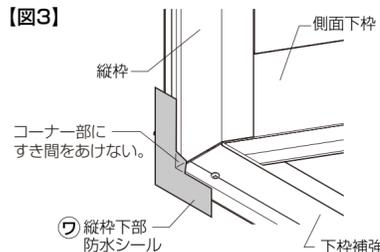
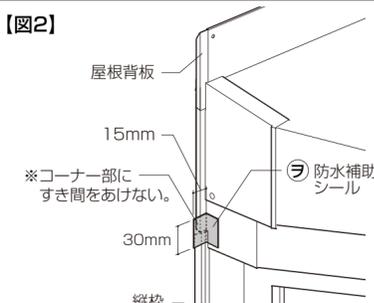
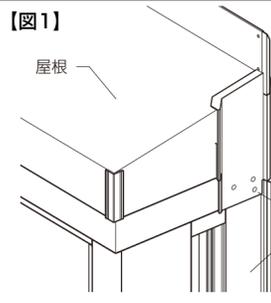


23本体・屋根の取付け

- ①本体を開口部に差込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
- ②屋根を本体に差込み、躯体に固定します。
- ※LL220、KL220型出窓は屋根を本体に差込み後、③ねじで本体と固定し躯体に固定します。【図1】
- ③上枠と屋根を固定します。
- ④天板見切り縁と屋根を固定します。
- ⑤縦枠フィンと屋根背板の境目に⑥防水補助シールを張ります。【図2】
- ⑥本体を躯体に取付けた後、⑦縦枠下部防水シールを張ります。【図3】
- ※コーナー部にすき間ができないよう十分押付けて張ってください。

注意

●屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。



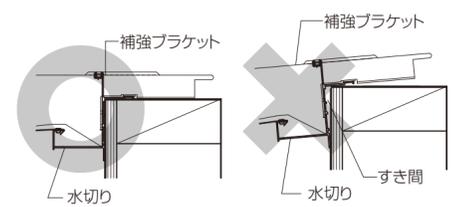
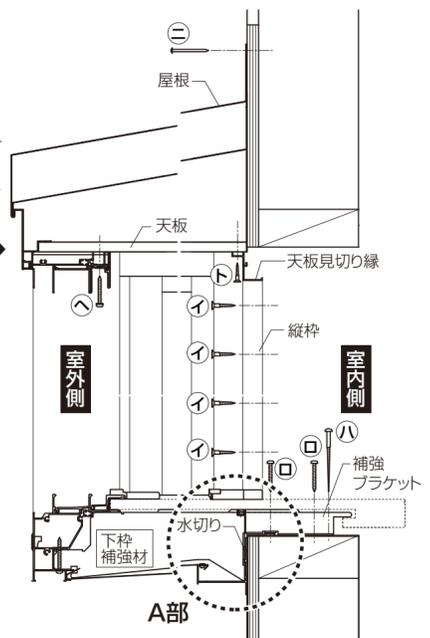
注意

●縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

A部詳細図

注意

●下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。

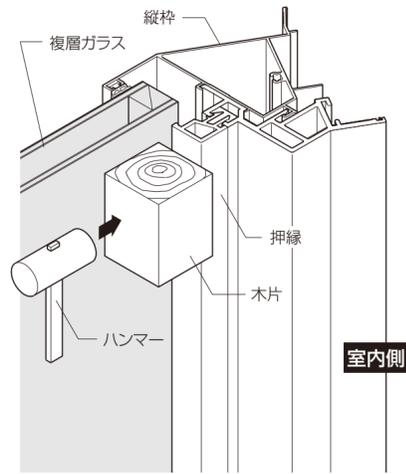


4側面FIXガラスの建込み

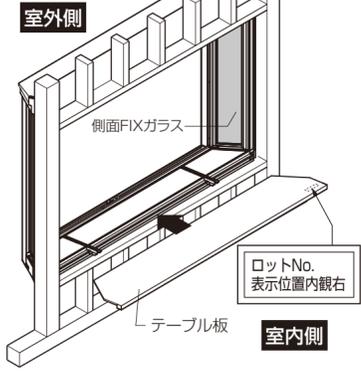
4側面FIXガラスの建込み

- ①室内側からガラスを入れます。
- ②縦押縁・上押縁の順で押縁に木片を当て、ハンマーで端部よりたたき込みます。
- ③後付けビードをまわします。

●お願い
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



5テーブル板の取付け



6造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

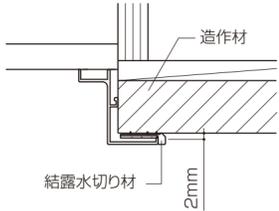
7障子の建込み

8建付け調整

■結露水切り材(別売り)の取付け(使用する場合のみ)

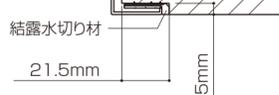
※造作材(仕上げ材)は、結露水切り材の厚みを考慮した寸法にしてください。

●加工できない場合(ウッディーライン化粧板等)



●加工できる場合

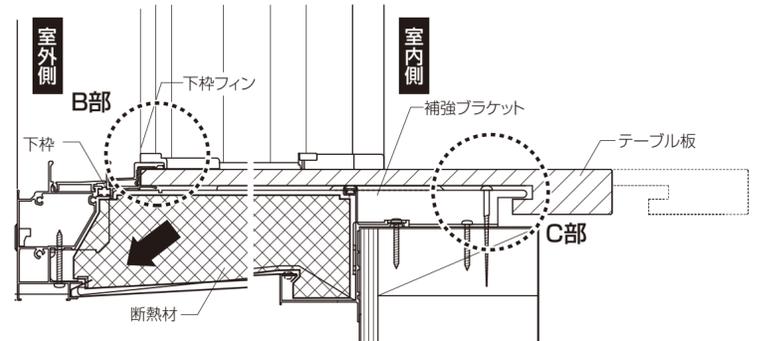
※出窓枠と造作材を同一面に納める場合は、下図の寸法とします。



5テーブル板の取付け

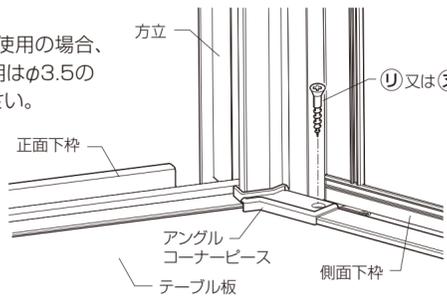
※浴室用で、アルミ額縁使用の場合は、アルミ額縁梱包内の取付け説明書に従って四方を組立ててから取付けてください。

- ①テーブル板を差込む前に断熱材を下枠の奥まで押込んでください。断熱材がテーブル板にはさまれるおそれがあります。
 - ②下枠フィン・補強ブラケットにテーブル板の両端を上から押し、差込んでねじ止めします。
- ※ねじはあまり締めすぎないでください。部品を变形させるおそれがあります。



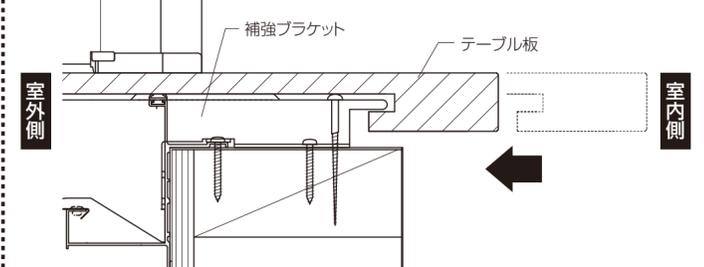
■B部詳細図

※人造大理石テーブル板使用の場合、キッチン用はφ3、浴室用はφ3.5の下穴を必ずあけてください。



■C部詳細図

※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。

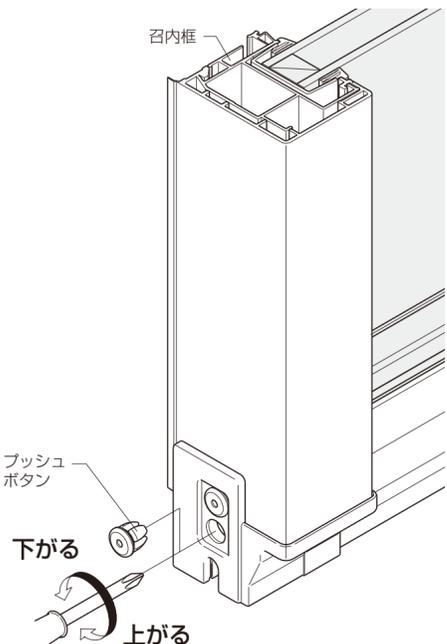


8建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

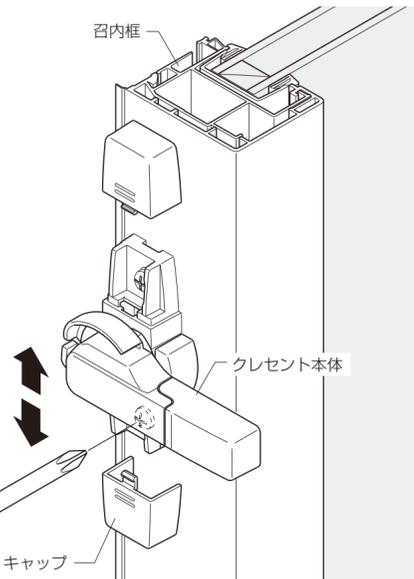
●お願い
●召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)



■クレセント調整

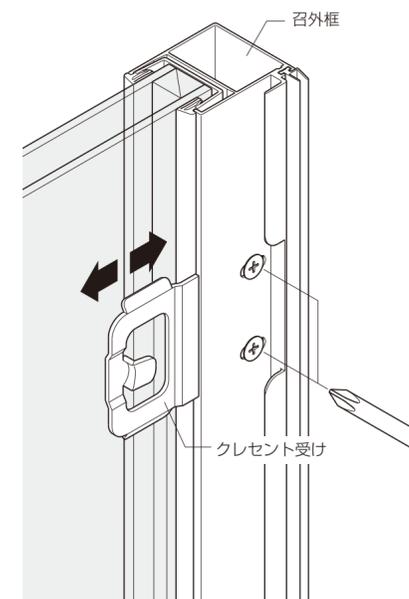
【上下方向の調整(クレセント本体)】

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじを緩めてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



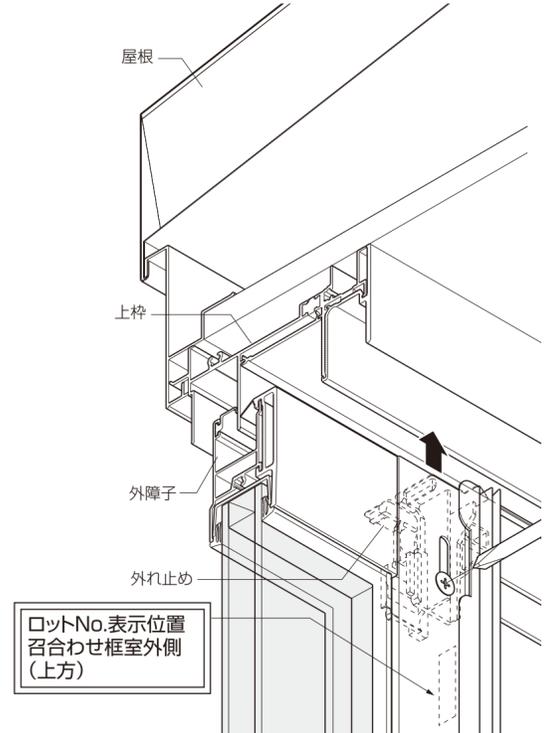
【左右方向の調整(クレセント受け)】

- プラスドライバーでねじを緩めてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじを緩めて外れ止めに上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



▲注意
●障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めに上げてください。